

特集



マニラ日本人会会長 新春インタビュー

会員の皆さま、明けましておめでとうございます！

清水前日本人会会長のご帰任に伴い、2020年4月より会長に就任され、同年9月の理事会にて再任された細谷明宏会長に、オンラインでインタビューをさせていただきました。日本人会に関することからご自身のプライベートまで、ざっくばらんにお話しただいています。ぜひ最後までご覧ください！

マニラ日本人会 細谷明宏会長

プロフィール

山形県生まれ。

北海道大学卒。

大学在学中はボート部

に所属。卒業後、約5年間の金融機関勤務を経て（ビガンにて撮影）

全日本空輸に転職。客室本部や機内食を製造する関連会社での業務等を経験したのち、初の海外駐在となるマニラに赴任。現在は日本で暮らす奥様、2人のご子息と離れて単身生活中。趣味は身体を動かすこと。最近の楽しみはTVドラマ・アニメ鑑賞。



編集委員: 明けましておめでとうございます。本日は新春インタビューということで、色々とお話を伺っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

明けましておめでとうございます。よろしくお願いいたします。

ご経歴・フィリピン駐在について

編集委員: これまでのご経歴を教えてください。

1986年から約5年間の金融機関勤務を経て、1991年に全日空に転職しました。部署を色々回り、海外としては初めてフィリピンマニラ着任。2020年4月、日本人会会長に就任しました。

実は食物アレルギーなどもあって海外駐在は躊躇していたのですが、マニラに来てみて、もっと早くから海外経験をして良かったかなと感じています。

編集委員: フィリピンでの生活はいかがでしょう。

これまでフィリピンの方と接したことがほとんどありませんでしたが、人が明るく優しい印象です。弱い立場の人に全般的に優しく感じました。貧富の差が激しい中で、支え合いながら生きているように見受けられます。くよくよしない国民性でしょうか、たまに驚いたり受け入れ難いこともあります。総じて良い方が多いです。清潔にも気を遣っていて、シャワーを浴びるのが好きな様子ですね。



現在のマニラ日本人会の状況について

編集委員:現在の法人、個人会員の動向について教えてください。

会員の数は、2020年3月以前は微増傾向でしたが、それ以降は減少傾向です。家族を含めると会員は3,000人ほどいらっしゃいますが、親会員は2020年10月の段階で法人会員385件、個人会員599件、賛助会員19件、ジュニア会員2件、合計で1,005件でした。これは前年同時期に比べて54件の減少です。

MJSマニラ日本人学校でも、3月時点で450名ほどだった在籍数が、7月末で260名と聞いています。その中でもフィリピンでお住まいの方は半分くらいで、残り半分は学籍を残したまま日本におられますので、3月と比べると、300名ほどがマニラを離れておられることとなります。

一方、フィリピン日本人商工会議所が6月にまとめた調査では、日本人駐在員の約7割が残っておられるとのことでした。単身で頑張っておられる駐在員の方の比率が高まっているのかなと思います。ただ、個人的には会員数の減少傾向がずっと続いていくとは思っておらず、さほど遠くないどこかでは増加に転じてくるんだろうなと思っています。今後フィリピンにご家族帯同で駐在される方は増えると感じていますし、それを期待しています。

編集委員:日本人会診療所の状況はいかがでしょうか。

診療所は3月18日からクローズしていましたが、現在は健康診断



と予防接種のみ受け付けています。徐々に業務再開の幅を広げてきているということですね。一般の診療を行っていませんので、診療所の収支としてはかなり厳しい状況にあります。

また、ご不便を感じている会員の方も少なくないと推察しています。とは言いながら、診療所が新型コロナの感染源になってはいけな
いと考えており、菊地先生はじめ医師の方々に検討いただきながら慎重な対応を行っています。

日本人戦没者慰霊祭について

編集委員：2020年8月に在フィリピン日本国大使館主催の日本人戦没者慰霊祭が行われ、5名の方が参列されました。細谷会長は在留邦人代表として追悼の辞を述べられましたが、いかがでしたでしょうか。

私が生まれたのは昭和30年代後半なので、戦争の体験はありません。フィリピンで暮らし始めて、また慰霊祭に出席させていただくようになって、私個人としては以前よりも確実に平和の尊さを意識するようになっていきます。

(日本にいた時には)親戚の中にはフィリピンに行ったきり戻ってこないという方もいましたし、そういう話をちらほら聞いたりしていましたが、こちらで戦争の話をよく聞くようになって、戦争に関わった方は大変な思いをされたんだなど、改めて思うようになりました。

編集委員：今回は初のオンライン開催ということで、フェイスブック



の同時配信を通じて約 130 人が視聴したと伺っております。例年と異なる慰霊祭に出席されて感じられたこと等お聞かせください。

移動外出の制限が厳しい中で、今回は大使館の方々がリードして下さって、所定のルールを守ったうえで開催されました。ご準備いただいて有難かったですし、私個人としても、慰霊祭が実施できたのは非常に良かったと思っています。

会場は大使館の中の施設でしたが、そこで尊い命を落とされた方のご冥福をお祈りし、肉体的にも精神的にも大変なご苦勞をされた方々の気持ちを少しでも安らかにできたらと心から願ったところであります。例年通り、皆さんとカリラヤに集って一緒に祈りを捧げられたらなお良かったと思いますが、戦争を考えたり、平和を願ったり、慰霊の念を持つということに、場所は関係ないと改めて思いました。

皆さんの中でオンライン慰霊祭に参加された方がいらっしゃったら、どんな印象や感想を持たれたか聞かせていただけますか。

編集委員：私はマニラの自宅から主人と二人で拝聴させていただきました。カリラヤでの慰霊祭に一度だけ伺ったことがあります。オンラインであっても一年に一度、その時に思いを馳せる機会をいただけたのは非常に有難いなと思いました。

もし来年カリラヤで開催ができたとしても、オンラインでのライブも併せて開催していただけると、もっと沢山の皆さんが現地に行かずして気持ちを一つにできるかなと思います。



カリラヤへ行く時には、結構木々が生い茂っていたり、小川が谷のような状況になっているところが目に入りますが、こんなところをフラフラの状況で歩いたのかと思うと、やはりしんどかったのではないのかなと思いますね。

編集委員：そういった意味でも、現地に一度でも足を運んでみると、またカリラヤに限らず色々な場所で戦争のモニュメントを見たりするにつけて、こんな場所で戦いがあったのかと思い知らされます。

これからのマニラ日本人会について

編集委員：2020年はイベント等が開催できませんでした。この状況下で日本人会の役割をどのようにお考えでしょうか。

とにかく早くコロナ禍が収束すること、少なくともその道筋が見えてくることを心から願っています。

2020年は本当に残念ではありましたが、ゴルフ大会、文化祭、スポーツフィエスタ等が実施できませんでした。楽しみにしてくださっている方には寂しい年になったのではないかと思います。

これらのイベントは廃止する訳ではありませんので、環境が許すようになれば、例年通り開催することになると思います。イベント等を通じて、会員相互の親睦や日比両国の友好関係の推進に日本人会が寄与していくのは変わらないと思います。



編集委員: 今後の日本人会の在り方について、お考えをお聞かせください。

日本人会はマニラ日本人会倶楽部が前身だったそうですが、そこから数えても60年を超えており、日本人会を取り巻く環境も変化しているのではないのかなとは思いますが。イベントやクラブ活動を中心に、会員の皆さんに参加していただく機会を提供したり、診療所やライブラリーを運営して会員の皆さんの生活の安心や充実に貢献していくという日本人会の活動に変わりはありません。

加えて、会員の方がどのようなことを求めておられるのか、会の運営のリーダー役をお任せいただいている各理事がお聞きしたり、会員の皆さんの方からご示唆やご提案をいただくことも必要になってくるのではないかと考えています。

例えば商工会議所の会員にはビジネスという共通の基盤がありますが、日本人会の会員の皆さんはそれぞれ違った背景をお持ちだと思います。時代の変化や、様々なバックグラウンドを抱えている方々がいらっしゃるという多様性を踏まえながら、上手く会員の皆さんの安全な生活に少しでも貢献していくという、日本人会の役割を変わりなく続けていくことだと思っています。

編集委員: 会長として心掛けていらっしゃることはありますか。

日本人会が、会員の皆さんのために効果効率的に機能できるよう、きちんと心掛けながらリードしていきたいと思っています。日本人会の会長であること、会社の支店長であること、父親であること、夫で



あることなど、これらの役割と立場のバランスを取りながら上手く立ち回っていきたいと思っています。明るく、気さくにやっていきたいです。



お仕事について

編集委員：日本では客室部のご経験が長かったとお聞きしました。フィリピンは初の海外赴任とのことですが、これから携わってみたい業務や赴任したいエリアなどあれば教えてください。

マニラに来る直前はグループ会社の機内食会社にいたのですが、食を扱うのは結構面白いなと思いました。その機内食会社以外、グループ内に製造業はないので、自分たちで現実にモノを作り出すという仕事には、もう一度立場を変えて携わってみたいです。どこか日本以外に行かせてもらえるのであれば、医療環境が整っていて、食事がおいしくて、仕事が楽で、人の目もあまり気にしなくてよくて、そんな天国みたいなところに行ってみたいです。あまりに



暇だとやる事がなくて困ると思うので、それなりに忙しいところが良いですね。あまり忙しすぎるのは嫌です(笑)。

編集委員：今はお忙しい日々を過ごしていらっしゃると思います。コロナ禍で様々な制約もある中、ご家族との再会時期の目途は立っているのでしょうか。

他の企業の皆さんもそうだと思いますが、今のところ目途は立っていません。実は当社では、マニラー日本間で貨物の専用機も飛ばしていることもあって、コロナ禍以前よりも多い便数を飛ばしています。仕事は毎日ありますし、同僚たちは毎日出社しなければいけません。帰国すると日本で2週間、マニラーで2週間、仕事や人から離れなければならないので、その時間を確保するのは難しいですね。もう少しそれぞれの国での隔離期間が短くなってくればと思っています。

編集委員：リモートで仕事をする時代になってきましたが、やはり現地にはいないとできない仕事もあるということですね。

そうですね。製造業ではラインがスムーズに動いて当たり前と言われるように、私どもは安全に飛行機が飛んで当たり前と言われる。何かあった時に責任者がいないというのは、特に日本企業では許されないと思います。大抵の場合は私がいなくても何とかなっていますけど(笑)。



プライベートについて

編集委員：コロナ禍における外出制限下での過ごし方や楽しみ方、ストレス発散方法があれば教えてください。

以前からストレス発散方法と言えば体を動かすことで、たっぷり汗をかいて冷えたビールをキューっと飲めば喜びを感じるという生活を送っていました。強化されたコミュニティ隔離措置（ECQ）の時は、外に出て走ってはいけない、散歩もしてはいけないということで本当に厳しかったですね。

ただ、お子さんも太陽の光を浴びられない中で大人が外に出たいとも言えないなど、「ハンドクラップダンス」等の動画を見ながらインストラクターについて体を動かし、大汗をかいています。

加えてここ1、2ヶ月は、連続もののドラマやアニメ鑑賞が私の過ごし方の大きな位置を占めるようになってきました。

編集委員：以前はドラマ等をご覧になっていなかったのでしょうか。

はい、ドラマやアニメはほとんど見ていませんでしたね。

今は不時着ものとか、私の業界上あってはならないものなのですが（笑）、飲食業界ものやサイコな人達が出てくるもの、鬼退治や巨人と戦うアニメなどを見ています。そのような連続ものを見ると続きが気になって仕方なく、早く次の日にならないかなと思うほど楽しみになっています（笑）。

ドラマやアニメ鑑賞がストレス発散になっているのは、人恋しさ故



かなと思っています。

編集委員: コロナが落ち着いたらどのようなことをされたいですか。

やはり、家族と直接会って話がしたいです。食事や買い物もしたいですし、日本の紅葉を見ながら、もう少し季節が進めば雪を見ながら温泉につかってみたいなども思います。いずれにしても家族との触れ合いの時間を早く持ちたいです。

今まではそれほど好きではなかったのですが、食事会をしたり歌ったり踊ったり、皆でワイワイと賑わう事もやってもいいのかなと思うようになってきました。これも人恋しさが成せる業なのでしょうね。

編集委員: 常夏のマニラにいと、日本の四季を恋しく思われるお気持ちはよく分かります。

ただ、日本は夏場すごく暑かったりしますので、四季で体を痛めつけられるより、一定の気温の中で暮らせるフィリピンの気候というのは、人間には優しいのではないかと思います。

とは言いながら、やはり四季折々の良さは楽しみたいというわがままな所はあります(笑)。

編集委員: ご家族で行かれたフィリピン国内旅行で印象に残っているところや、もう一度行きたいところがありますか。

ボホール島やエルニドは良かったですね。ただ、そんなに色々なと



ころに行っていないので、他の島にも行ってみたいです。
マニラにいる間に見てみたいのは、マヨン山とバナウエの棚田で
す。その2つは早めに制覇したいなと思っています。

編集委員：ご家族で旅行に行かれるときは、どなたがプランを考
えるのでしょうか。

私がツアーコーディネーターとして、家族の皆さんに心ゆくまで楽し
んでもらえるように尽くしています。妻がどのように感じているのか
分かりませんが……。基本的には楽しんでくれていると思います。

編集委員：ご家族にお仕事の相談をされることはありますか。

ほとんどありませんが、妻とはたまに仕事に絡むような話をすること
はあります。なぜ私の機嫌が良いのか、あるいは悪いのか、分
からないと心配すると思うので、それとなく知らせるために話をしま
す。

編集委員：奥様とはどこでお知り合いになったのでしょうか。

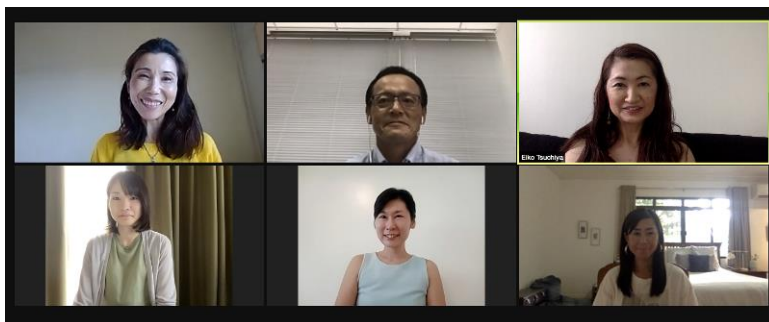
妻との出会いですか……。前世からの繋がりではないでしょうか。

編集委員：それほどまでに相性が良いということですね。

言葉にせず、うなづくことでお返ししたいと思います(笑)。



会員の皆さまへのメッセージ



編集委員:最後に、会員の皆さまへのメッセージをお願いします。

会員の皆さまにとって、2021年は素晴らしい一年になりますように、
そしてコロナ禍が早期に収まることを心からお祈り申し上げます。
当面は感染の予防に留意されて健やかにお過ごしください。

編集委員:本日はお忙しい中、お時間をいただきありがとうございます！
ました！

※このインタビューは2020年11月4日(水)に実施したものです。

